

COMPUTER SEWING MACHINE

**JUKI**



# THE MISIN *so-ing*

HZL-8800型

正しいミシンの使い方  
使用説明書

お買い上げ ありがとうございます。

このコンピューターミシンによる自動糸調子や大型模様ぬいなど  
数々の特長を正しくご使用していただくために

まず この「使用説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書、サービス網一覧表とともに、  
必ずケースの中に入れて保管してください。

なお、このミシンは選りすぐった純正部品を使い  
充分な品質管理された日本製ですので  
多彩なソーイングをお楽しみください。

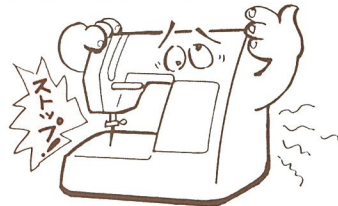
このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、下記の状態がおこる場合がありますからご注意ください。

正しくご使用していただくために、必ず お守りください。

- 5℃～40℃の範囲で お使いください。
- 長時間のゆっくりぬいをつけると異常発熱を防ぐため、ミシンがとまるようになっています。



- 温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。



- 約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

針のとりかえ、ランプの交換、注油などのときは必ず電源を切ってから行ってください。



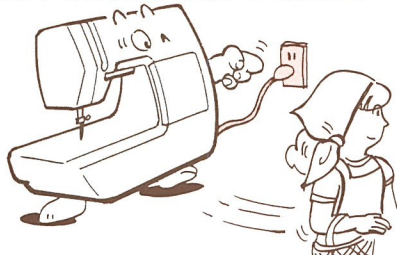
- 特にカバー類をはずす場合はコンセントからプラグをぬいてください。

お子様の手の届くところに置かないでください。

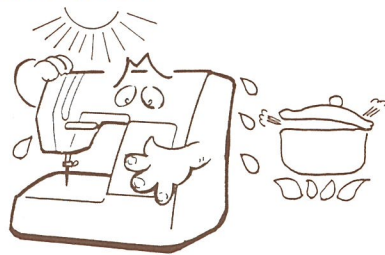


- 特にコンセントをつないだままだと危険です。

ご使用にならないときは必ず電源スイッチを切りコンセントからプラグをぬいてください。



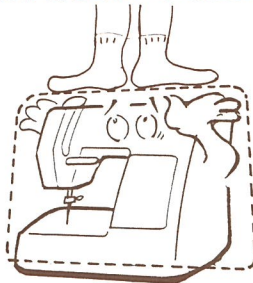
直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



ミシン油以外の油は使わないでください。

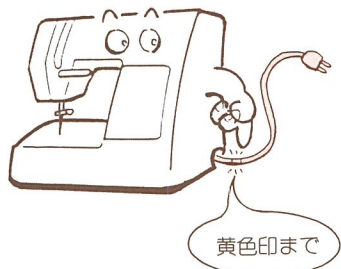


重いものを乗せないでください。



- 精密な機械のため、少しでも変形するとぬえなくなる場合があります。

コードは黄色印以上引き出さないでください。



シンナーなどの溶剤でふかないでください。



- やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。



## ●主な はたらき

**液晶表示窓**

下のキーを押すと模様番号、模様の大さきのシンボルマークや縮小、反転、連続、メモリ、ぬい目の長さ、糸調子の自動とマニュアルが表示されます。

**押え記号**      **表示ランプ**

**基本ぬい模様選択キー**  
 模様の上を押すと表示ランプが点灯して模様が選ばれます。

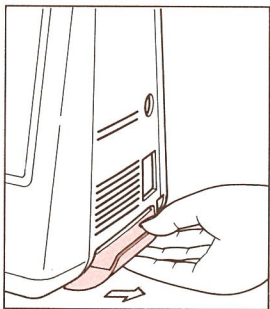
**しんせつモニター**  
 ぬい始めの正しい準備がされていないと表示ランプが点灯してお知らせします。

**模様(No.)選択キー**  
 模様番号を指定するキーです。左のキーが10のケタ、右のキーが1のケタです。

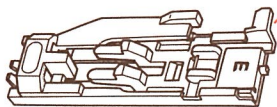
**押え記号**

**A・B面模様表示パネル**

## ●付属品ケース



付属品ケースを引き出します。



ボタン穴かがり押え(E)



ブラインド ステッチ押え(D)



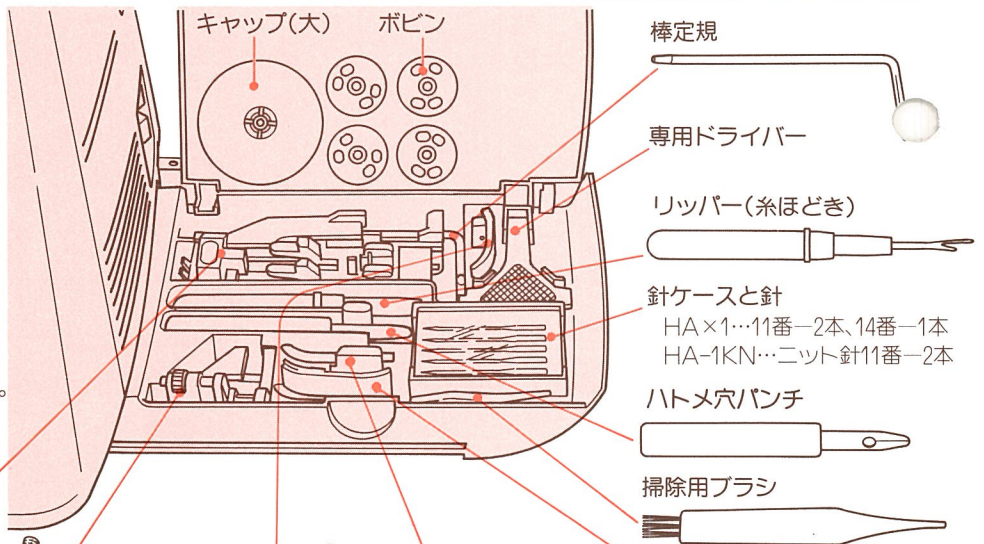
模様押え(T)



ファスナー押え(B)



裁ち目かがり押え(C)



※基本押え(A)は最初ミシン本体にとりつけられています。



**使用前の準備** ページ

特に注意していただきたいこと……………1  
各部の名称・主なはたらき・付属品……………3・4

**使い方の基本** ページ

下糸の準備……………5・6  
上糸のかけ方……………7・8  
●針自動糸通し  
●下糸の引きあげ方  
押えのとりかえ方……………9  
押えと各模様との関係……………9  
ぬい目の長さについて……………10  
●ぬい目の長さ調節方法  
自動糸調子について・糸調子の調整方法……………11  
しんせつモニターについて……………12  
布地に合った糸と針の選び方……………13  
針について……………13  
いろいろなぬい方のガイド……………14

**基本的なぬい方** ページ

直線ぬい……………15・16・17  
●返しぬい  
●ぬい方向を変えるとき  
●厚地のぬい始めのぬい方  
●ぬい代の重なっている部分のぬい方  
●いせ込み・ギャザーの寄せ方  
●自動糸切りの使い方  
●糸切りみぞの使い方  
ジグザグぬい……………18

**実用ぬい** ページ

自動ボタン穴かがり……………19・20・21  
●芯入りボタン穴かがり  
筒ぬい(フリーアーム)……………21  
裁ち目かがり(縁かがり)……………22

**模様ぬい** ページ

模様ぬいについて……………23・24  
●液晶表示と各キーの名称  
●液晶表示窓に表示される内容  
●模様と各キーとの関係  
大型模様ぬい(1)……………25・26  
●ワンポイントぬい  
●反転ぬい  
●縮小ぬい  
●連続ぬい  
大型模様ぬい(2)……………27・28  
●アルファベット  
●連続模様  
標準模様ぬい……………27・28  
●濁点ぬい(ひらがな)  
組み合わせぬい(応用例)……………29・30  
模様の形の整え方……………29・30  
模様Noの訂正のし方……………31

**実用ぬいと応用ぬい** ページ

ダーニング(つくろいぬい)……………32  
ファスナーつけ……………33・34  
●協明きファスナーつけ  
●つき合わせファスナーつけ  
伸縮強化ぬい(ストレッチ ステッチ)……………36  
ブラインド ステッチ(まつりぬい)……………37・38  
三点ジグザグぬい(エラスチック ステッチ)……………39  
アップリケ(1)(2)……………40  
キルティング……………41  
パッチワーク……………42  
ピンタック……………43

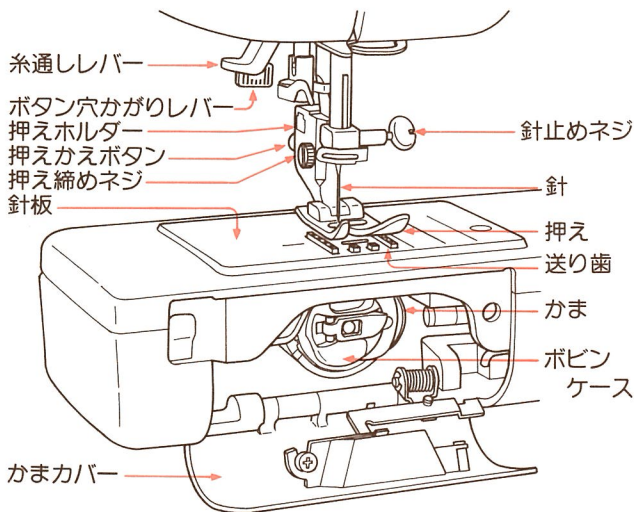
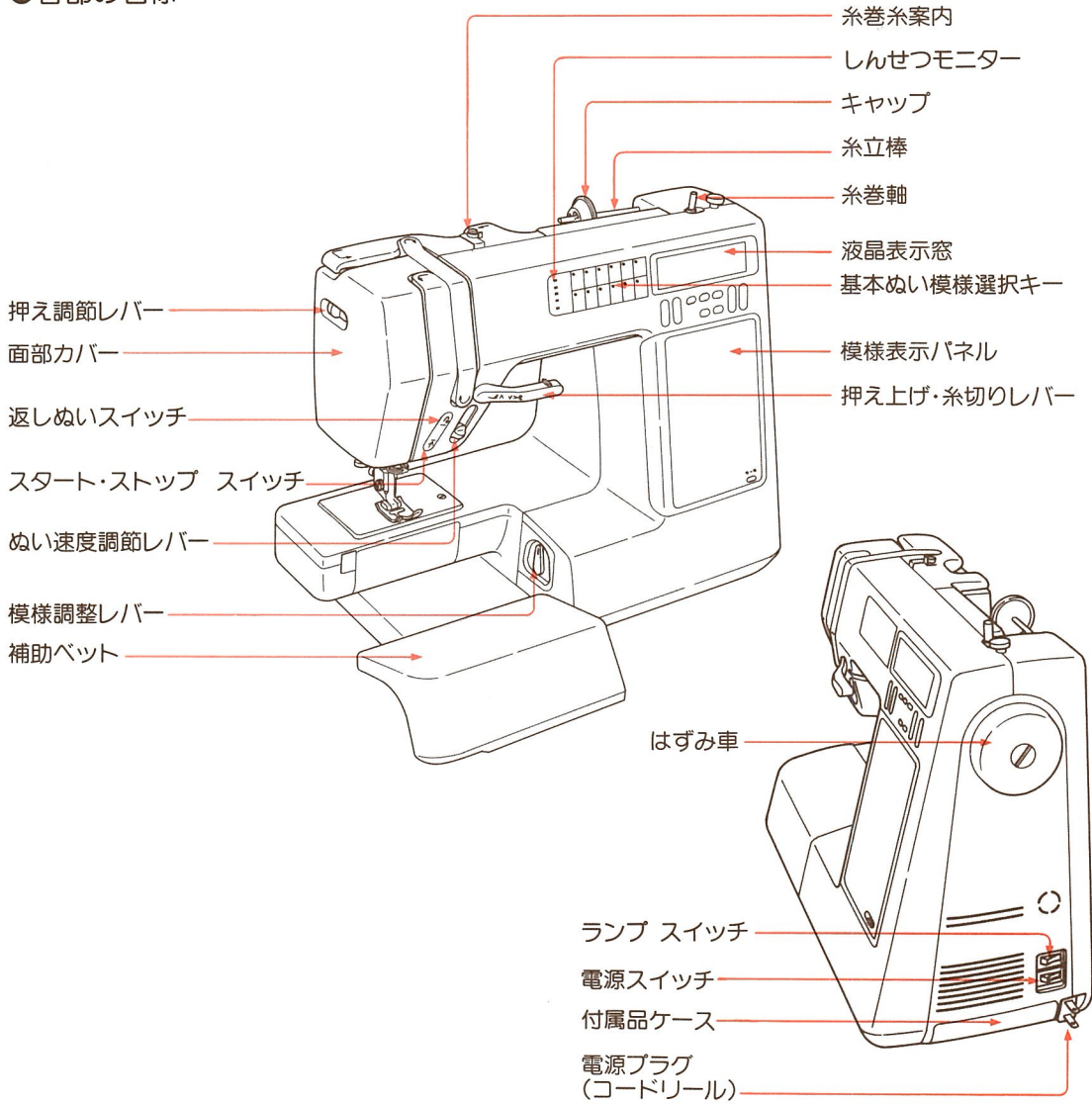
別売付属品

別売品について……………44  
コンシールファスナーつけ……………45  
三つ巻きぬい……………46  
ぬい代の重なっている部分のボタン穴かがり……………47  
ひもつけ(コーティング)……………48  
上送りアタッチメント……………48  
コントローラーを使ったときのミシンの動かし方……………49

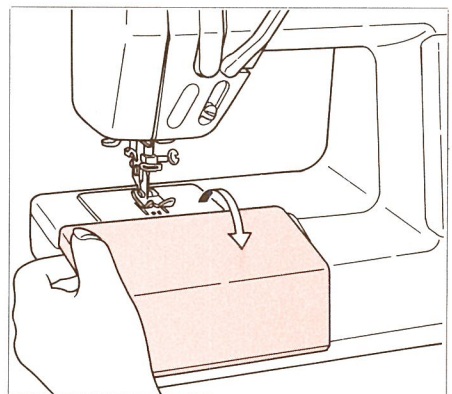
**ミシンの調子が悪いとき** ページ

ランプの交換(面部カバーのとりはずし方)……………50  
ポビンケースの調整方法……………50  
ミシンの手入れ……………51  
サービスをお申しつけになる前に……………52・53  
修理サービスのご案内……………54

●各部の名称



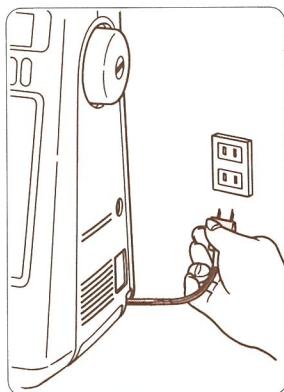
フリーアームのセット



補助ベットを上にあげて手前に引いてから下におろします。

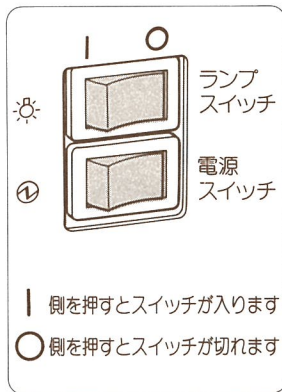


電源・コードリール



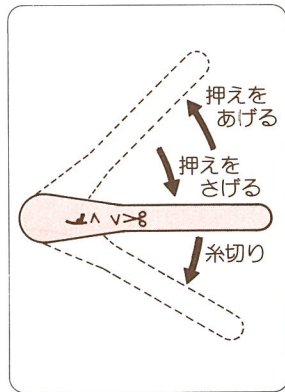
コードを引き出します。  
コードを少し引いてゆるめますと巻きこみます。

電源とランプのスイッチ



側を押すとスイッチが入ります  
側を押すとスイッチが切れます

押え上げ・糸切りレバー



上にあげると押えがあたります。下までさげると糸切りができます。

ぬい目の長さマニュアルキー

Λを押すとぬい目が長くなり、  
Vを押すと短くなります。

糸調子マニュアルキー

Λを押すと糸調子が強くなり、  
Vを押すと弱くなります。

模様の縮小、反転、メモリ、連続、クリアをするキー群です。

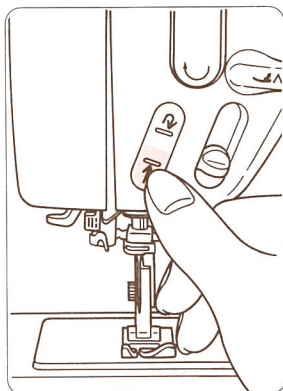


具象模様表示パネル

A・B面模様切替えレバー

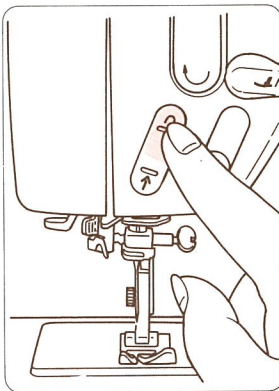
- レバーを左にするとA面模様が表示されます。
- レバーを右にするとB面模様が表示されます。

スタート・ストップ スイッチ



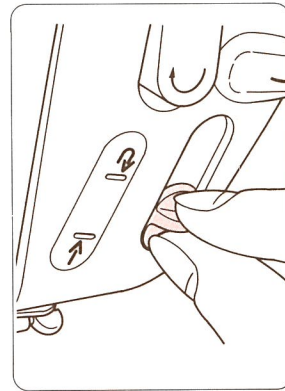
ミシンをスタートさせます。  
再度押すとストップします。

返しぬいスイッチ



押し続けている間だけ返しぬいが  
できます。はなすと止まります。

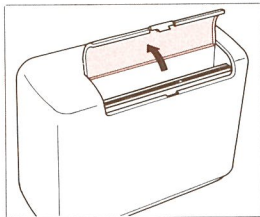
ぬい速度調節レバー



上にあげるとはやくなります。  
下にさげるとおそくなります。

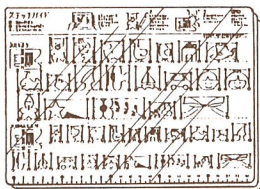


●カバーケース内の付属品

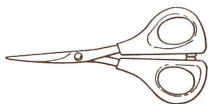


使用説明書は必ずケースに  
収納してください。

ステッチガイドシート



ハサミ



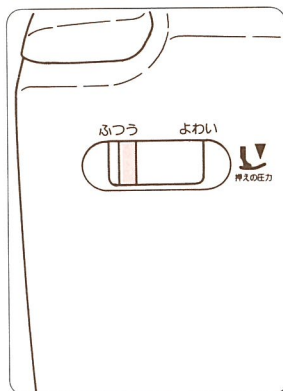
チャコペン(2色)



ミシン油

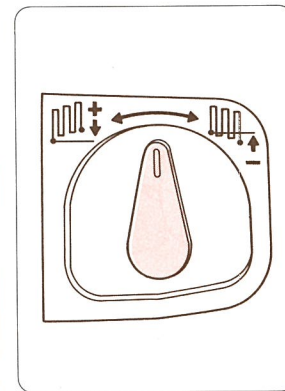


押え調節レバー



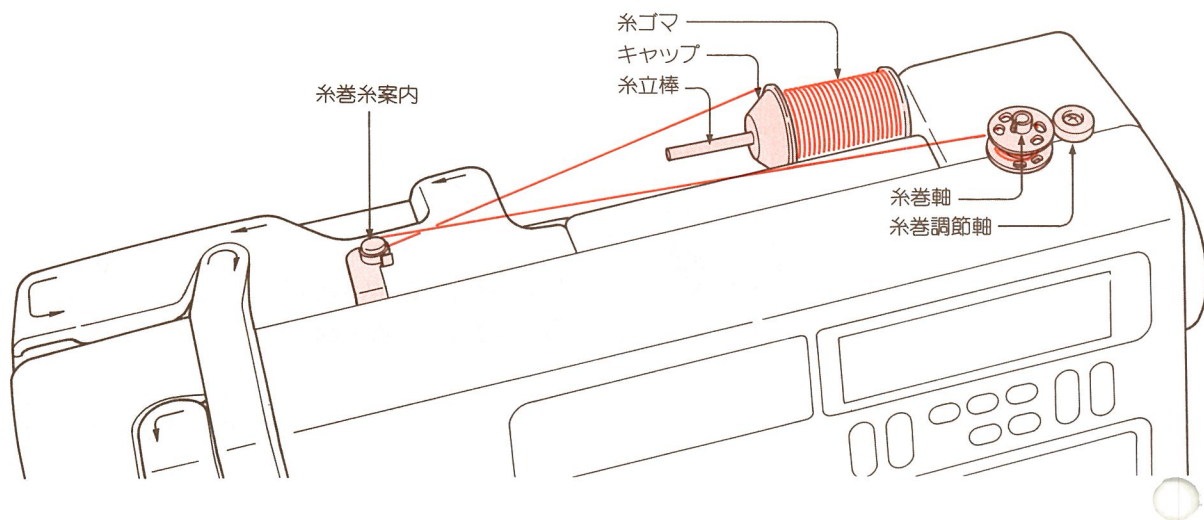
布地の種類や厚さによって押えの  
圧力を調節します。  
通常は「ふつう」でぬいます。

模様調整レバー

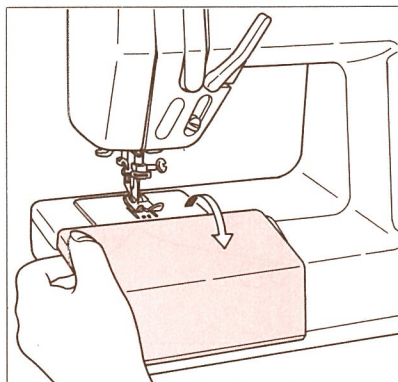


模様ぬいの形を整えるために  
使います。(29、30ページ参照)

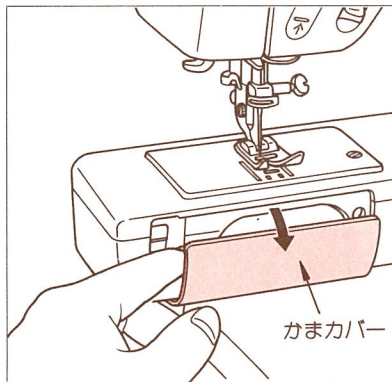
●下糸巻きの糸のかけ方



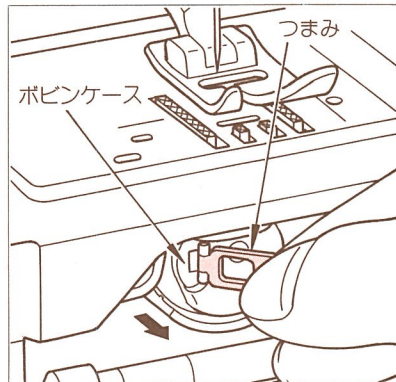
1フリーアームにします



2かまカバーを開きます

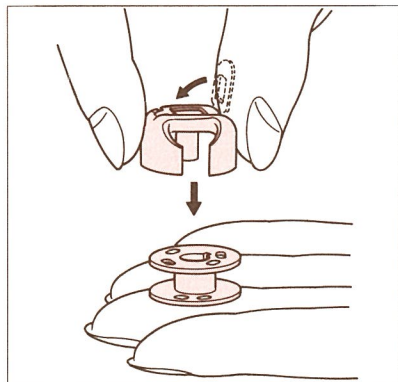


3ボビンケースをとり出します



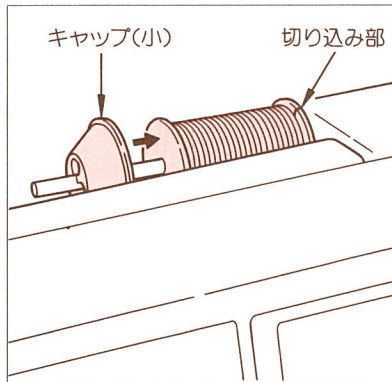
- ①針が上っていることを確認します。
- ②つまみを開いてとり出します。

4ボビンをとり出します



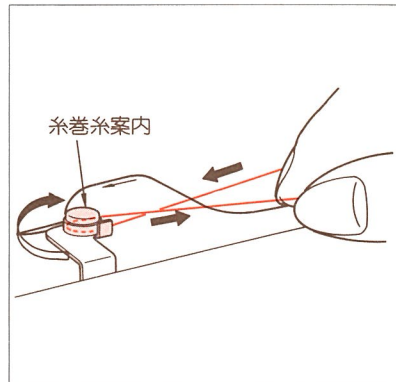
つまみを閉じてボビンをとり出します。

5糸ゴマをセットします

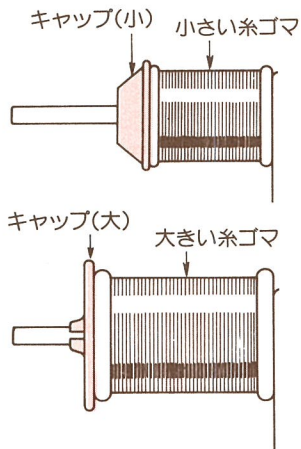


- ①糸ゴマの切りこみ部を右側にして入れます。
- ②キャップで糸ゴマが動かないように押えます。
- ③キャップの大、小は次ページの説明通り正しくとりつけます。

6糸巻糸案内にかけます

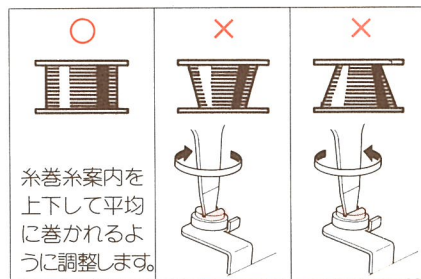




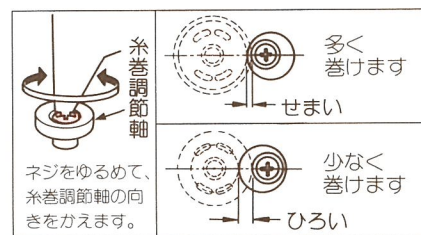


糸ゴマの外周に応じて  
キャップの(大)、(小)  
を選んでとりつけます。

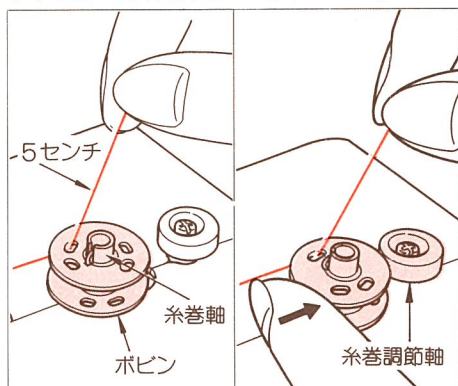
### ●下糸巻き調整



### ●下糸巻き量の調整

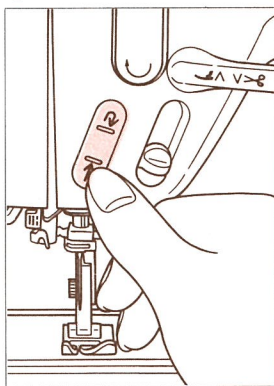


### 7 ボビンを糸巻軸にセットします



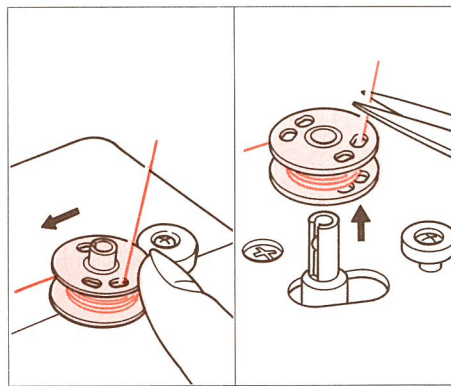
ボビンを糸巻調節軸へ  
押しつけます。

### 8 スタート・ストップ スイッチを押します



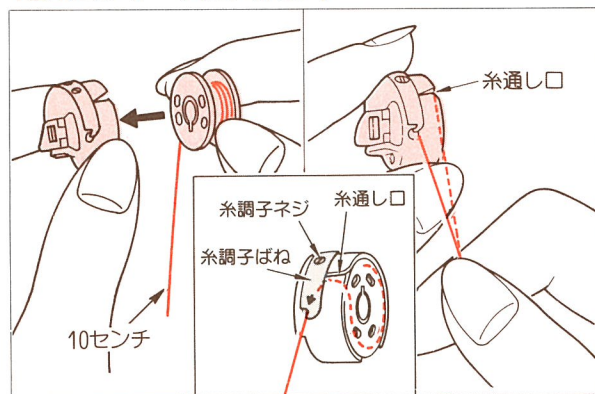
巻き終わったらスタート・ス  
トップスイッチでとめます。  
※糸巻きスピードの調節は  
ぬい速度調節バーで行います。

### 9 ボビンを左側へもどします



余分な糸を切りボビンを  
とり出します。

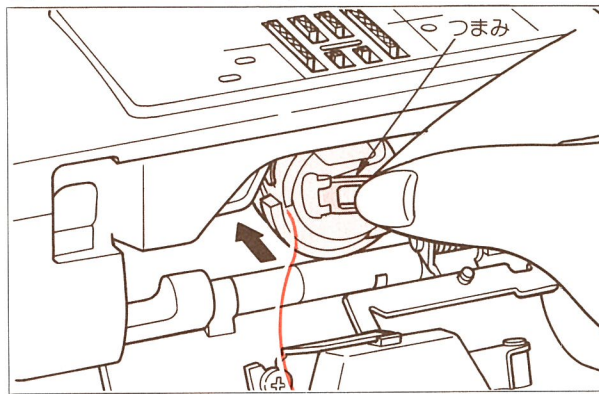
### 12 ボビンケースに入れます



糸通し口から糸を通します。

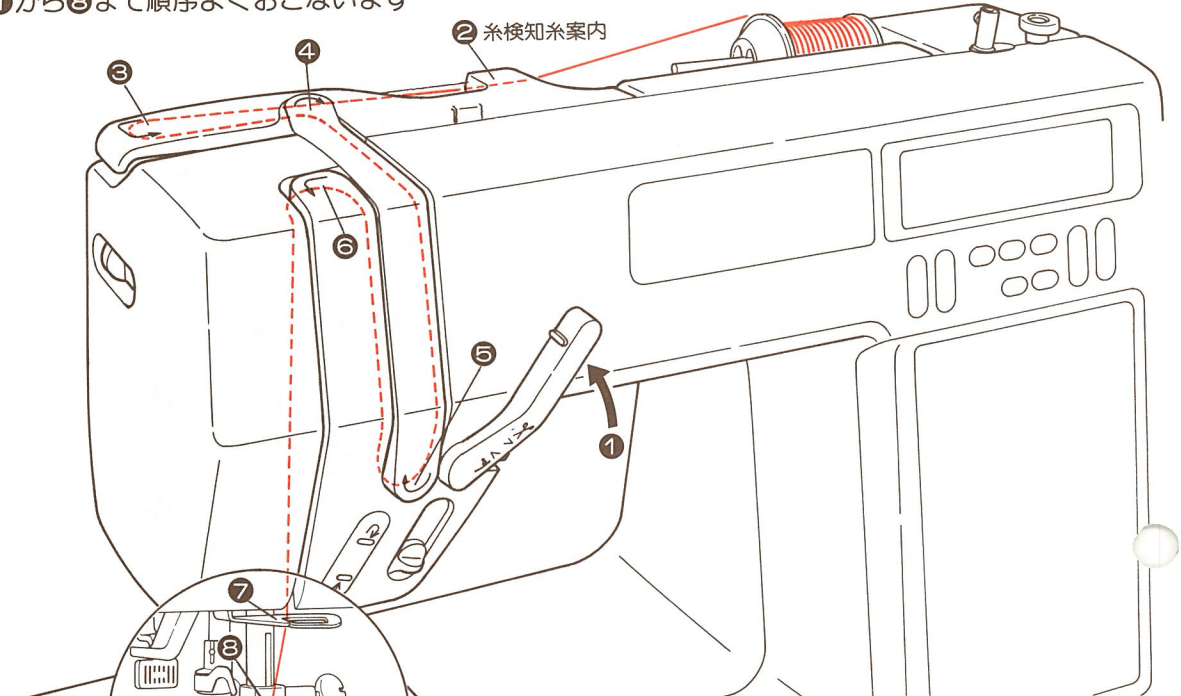
※同梱されているボビンケースは正しく調整されて  
いますので糸調子ネジはさわらないでください。

### 11 ミシンにセットします

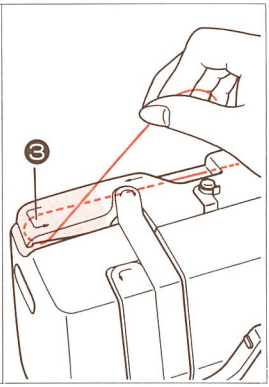
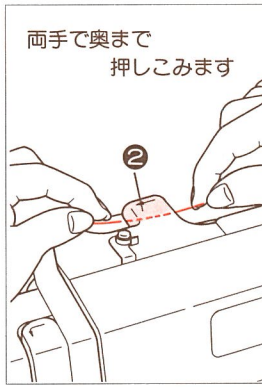
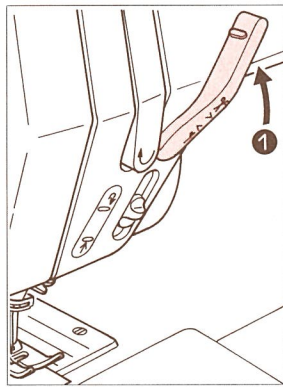
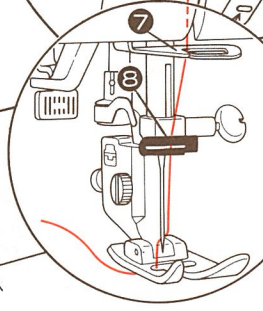


①つまみをいっぱい開いて、かまにしっかりとさしこみます。  
②ボビンケースのつまみをきちんと閉じます。  
③かまカバーを閉じます。

①から⑧まで順序よくおこないます

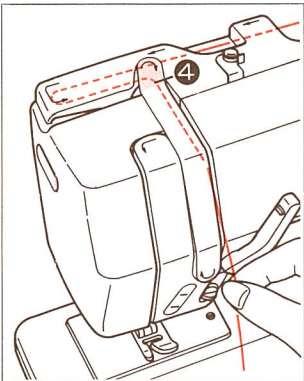


1 押し上げレバーをあげます 2 糸を順序よくかけます 3

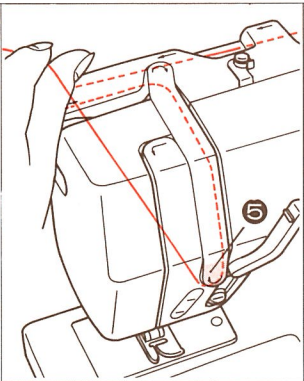


糸検知糸案内の溝へ糸をかけます。

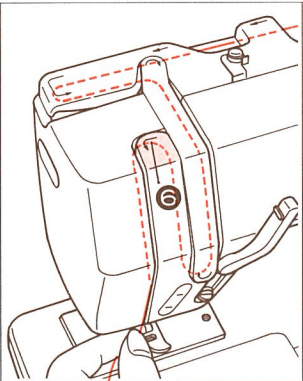
4



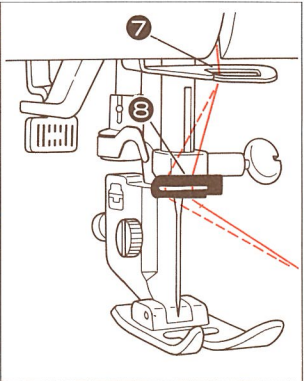
5



6



7



④から下へおろします。

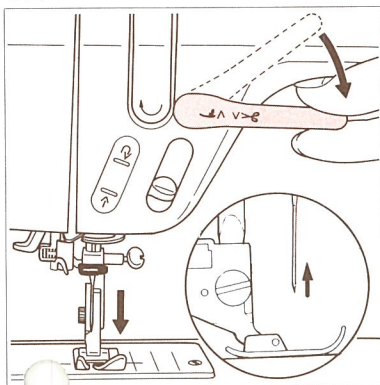
⑤へかけて上にもって行きます。はずみ車をまわして針が上った位置で⑥へ糸をかけます。

⑦へかけてから⑧には左側からかけます。



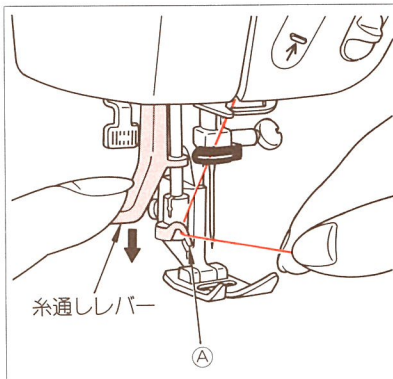
針自動糸通し

8 押え上げレバーを下げます



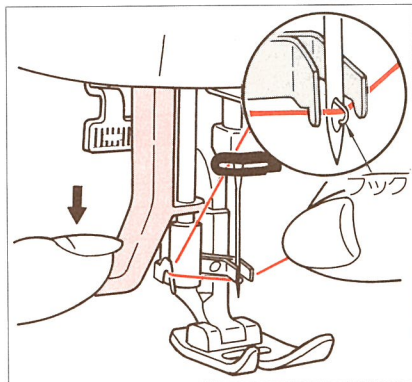
※針は一番上にあげます。

9 糸通しレバーを下げます



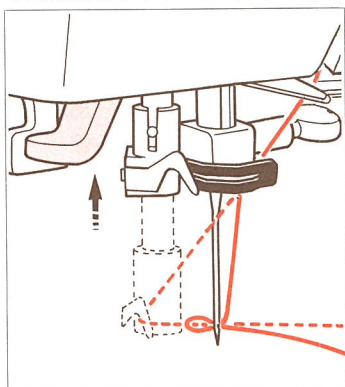
糸通しレバーを途中(重くなる直前)までさげてAに糸をかけます。

10 フックにかけます



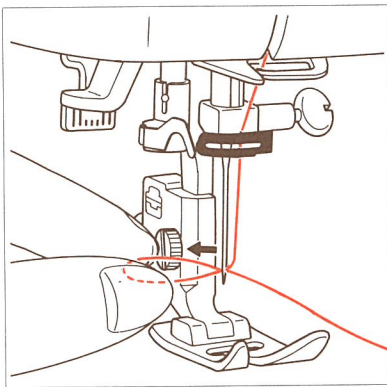
さらに糸通しレバーをさげてフックに糸をかけます。

11 糸通しレバーをあげます



指で押え上げるとフックが糸をひっかけて針穴に通します。

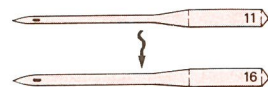
12 糸をひき出します



通した糸を針穴から10センチくらい引き出します。

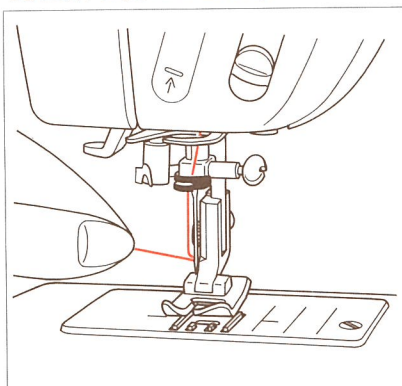
ご注意

1. ミシンが動いているときは糸通しレバーさげないでください。
2. 針自動糸通しは11番、14番、16番の針に使用できます。

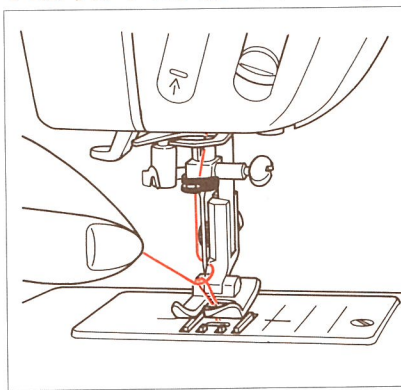


下糸の引きあげ方

13 上糸を軽くもちます

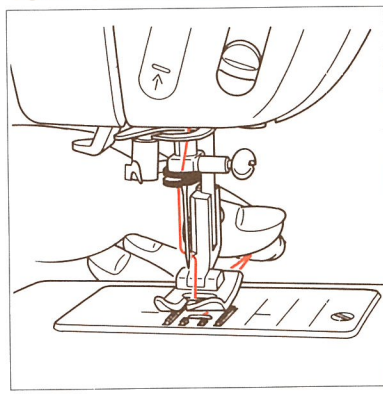


14 はずみ車を手前にまわします



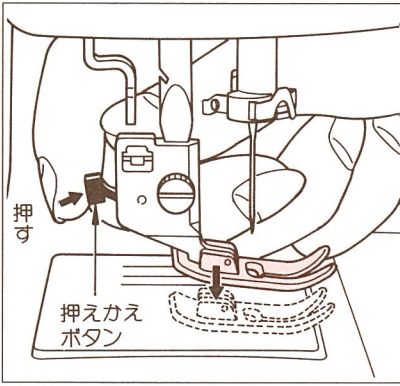
針が上下して、下糸を引き出します。

15 上・下糸を10センチ出します



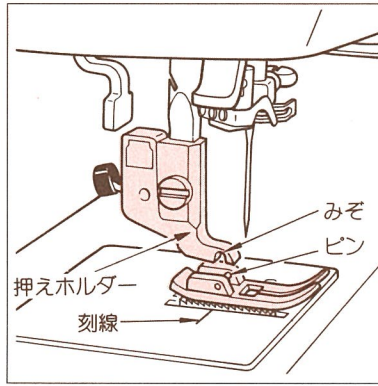
上・下糸を押えの下にして後ろへそろえます。

1 押えをはずします

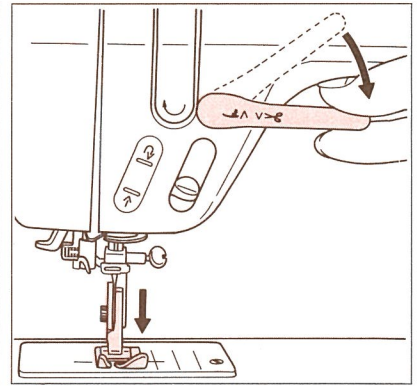


- ① 押え上げレバーを上にあげます。
- ② 押えかえボタンを矢印の方向に押しします。

2 押えのピンを刻線に合せます



3 押え上げレバーを水平にします



押え上げレバーを水平にすると押えがセットされます。

押え	基本押え						模様押え		
記号	A						T		
模様							具象模様 No00~19 A面模様 No49~75 76~79 86~89	A面模様 No00~19 80~85 94~97 B面模様 No20~97	
主な用途	直線ぬい キルティング	伸縮強化ぬい ピンタックなど	ジグザグぬい アップリケ	キルティングなど	裁ち目かがり	シラスチックスリッチ 三点ジグザグぬい 裁ち目かがり	模様ぬい バッチワーク など	● 大型連続模様ぬい ● 大型アルファベットぬい ● 大型具象模様ぬい	標準模様ぬい


押え	ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
記号	B	C	D	E
模様				
主な用途	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインド ステッチ (まつりぬい)	自動ボタン 穴かがり



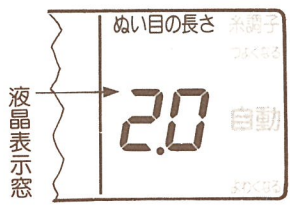
●各模様ぬい目の長さ

- 模様を選びますと自動的に適正なぬい目がセットされます。
- お好みのぬい目の長さにしたときは「ぬい目の長さマニュアルキー」で調節します。

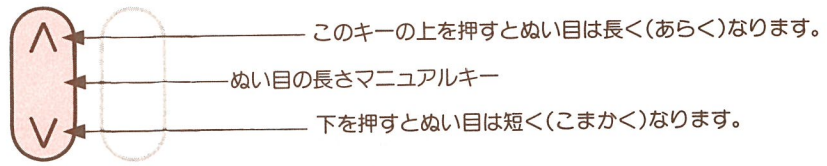
模様	A面模様										
	80	81	82	83	具象模様 No00~19 A面模様 No20~79 84~97 B面模様 No20~97						
自動	2.0	1.0	1.5	2.0	2.5	両かん止め 0.5 ハトメ 0.6	2.0	1.0	--	0.5	--
マニュアル範囲	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	0.0 S 1.0	0.0 S 4.0	0.0 S 4.0	--	0.0 S 4.0	--

※模様を選んで  が表示される模様は自動的に適正なぬい目がセットされています。液晶表示窓には数字は表示されません。またぬい目の長さマニュアルキーを押しても表示は変わりません。

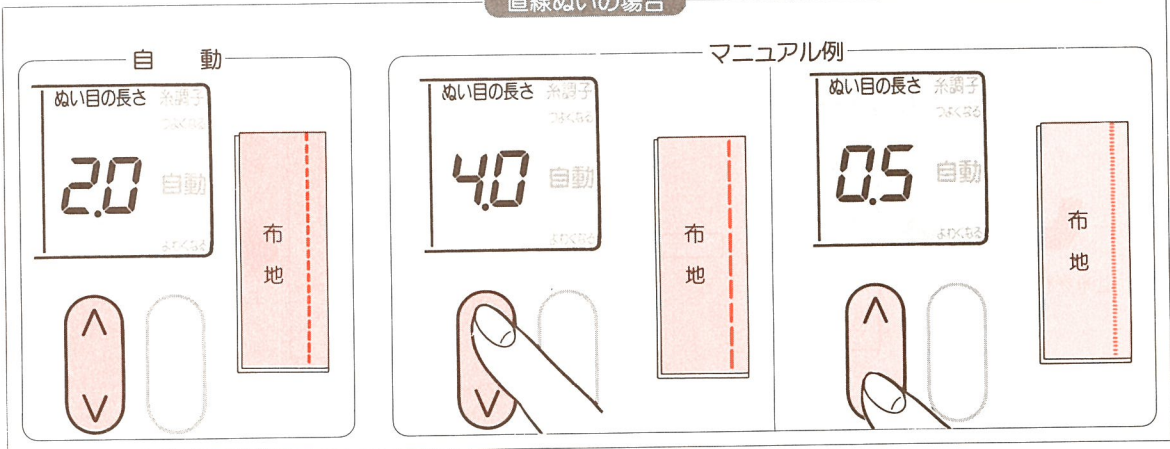
●ぬい目の長さマニュアルキーの調節方法



マニュアル範囲 (0.0、0.2~1.0、1.5、2.0、2.3、2.5)  
0.0 ~ 4.0 (3.0、3.5、4.0の数字が表示されます)



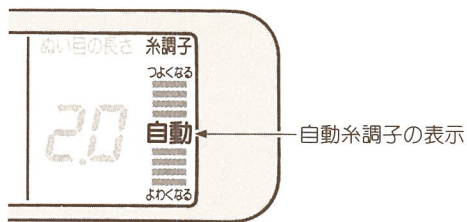
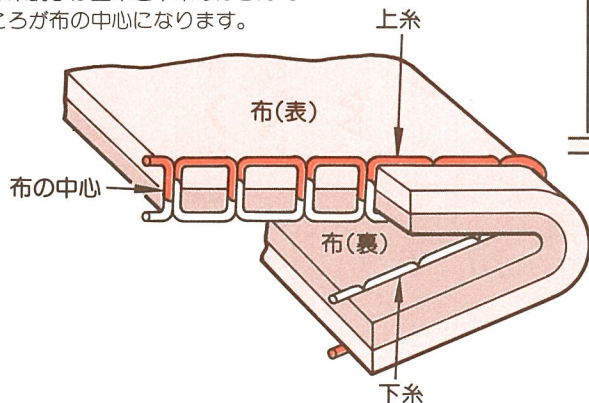
直線ぬいの場合



糸調子はコンピューターで自動的に調節されます

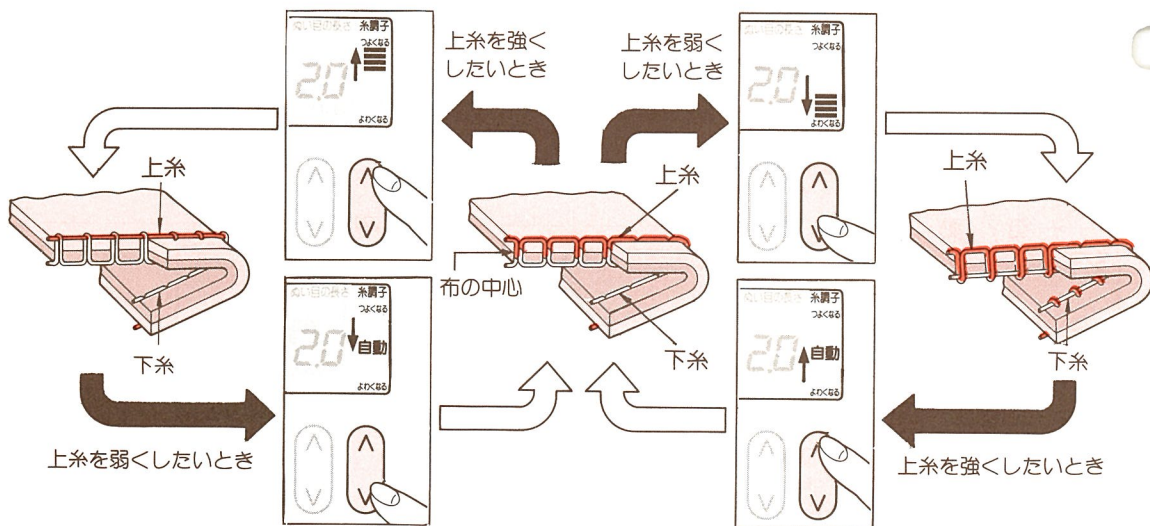
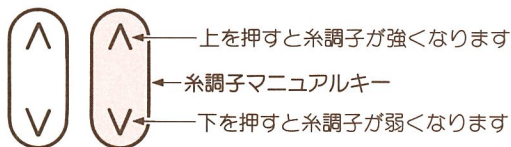
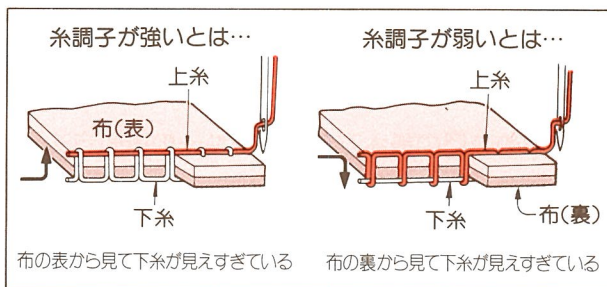
※電源を入れたときと、基本ぬい模様を選びなおしたときは糸調子は「自動」にセットされます。

理想的な糸調子は上糸と下糸のからんでいるところが布の中心になります。



自動糸調子の表示

●糸調子の調整方法 特殊な素材やギャザー寄せなど糸調子を変えたいときは「糸調子マニュアルキー」で調整します。














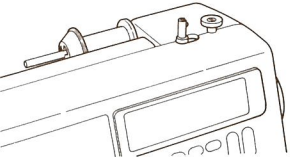



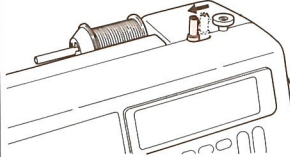

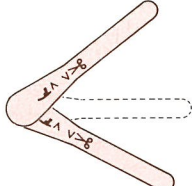
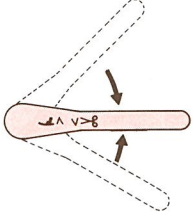

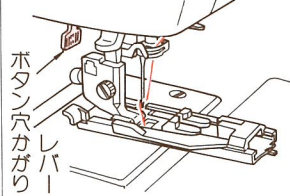
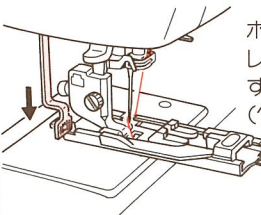

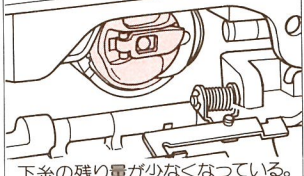

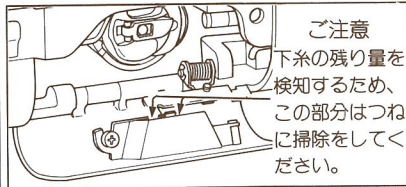
※No00～98の模様を組み合わせる選び、最初に糸調子マニュアルキーを使うと組み合わせた模様のすべてが同じ糸調子になります。



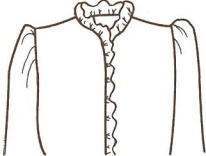
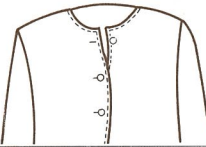

## ●しんせつモニター

ぬい始めの正しい準備がされていないと表示ランプが点灯してお知らせします。

-   — 上糸検知表示ランプ
-   — 糸巻き表示ランプ
-   — 押え上げ糸切りレバー表示ランプ
-   — ボタン穴かがりレバー表示ランプ
-   — 下糸残量表示ランプ

表示ランプが点灯している			ぬい始めるとき (下図のようにしますと表示ランプは消えます)
表示ランプ	状態	スタートスイッチを押したとき	
	 上糸がなくなっている。	—	 上糸をかけかえてスタートボタンを押します。
	 糸巻軸が右側に行き、下糸巻きになっている。	針は1針しか動かず、糸巻軸がまわります。	 ミシンを止めてから糸巻軸を左側へもどします。
	 押えが上っているか糸切り状態になっている。	表示ランプは点滅し針は1針しか動きません。	 押え上げ・糸切りレバーを水平にします。
	 ボタン穴かがりレバーがセットされていない。	表示ランプが点滅にかわり、ミシンは動きません。	 ボタン穴かがりレバーを下げます。(19ページ参照)
	 下糸の残り量が少なくなっている。糸の太さにより下糸の残り量は変わります。透明糸など特殊糸は検知しませんので、ご注意ください。	—	 下糸を補充します。   ご注意 下糸の残り量を検知するため、この部分はつねに掃除をしてください。

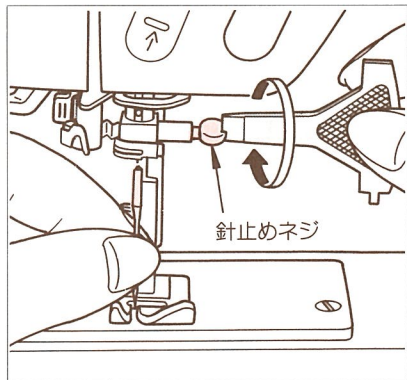
●布地に合った糸と針の選び方

	布 地	ミシン糸	ミシン針
 <p>薄地ぬい</p>	ローン	絹ミシン糸——80番～100番	(9番)
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸——90番・100番	11番
	トリコット	化繊ミシン糸——60～100番	ニット針 11番
	ウール・化繊布	絹ミシン糸——80番 化繊ミシン糸——60～100番	11番
 <p>普通地ぬい</p>	普通木綿・化繊布	綿 糸——50～80番 化繊ミシン糸——50・60番	11～14番
	薄手ジャージー	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸——50・60番	ニット針 11番
	一般ウール・化繊服地	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸——50・60番	11～14番
 <p>厚地ぬい</p>	テニム	綿 糸——30～50番 化繊ミシン糸——30～50番	14～16番
	ジャージー	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸——50・60番	ニット針 11～14番
	コート	絹ミシン糸——50番	11～14番

※ニット針(HA×1KN)は目とびを防ぎ、伸縮性の布地に適します。

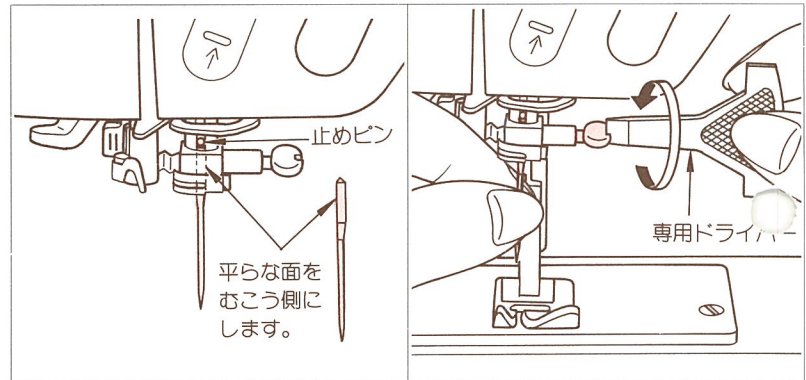
※電源は必ず切ってください。

1 針の はずし方



- ①針を最上部にあげます。
- ②針止めネジをゆるめます。

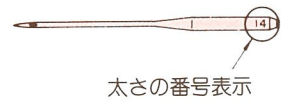
2 針の とりつけ方 (針が正しい向きでないと とりつきません)



- 針の平らな面をおこう側にして止めピンに突きあてます。
- 付属の専用ドライバーで針止めネジをかたくしめます。

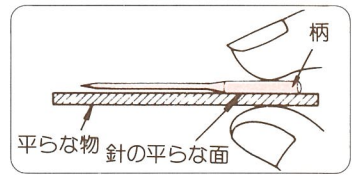
●針の選び方

針をお買求めの際は  
家庭用ミシン針のHA×1、または  
HA×1KN(ニット針)を指定します。



数字が大きくなると  
針が太くなります。

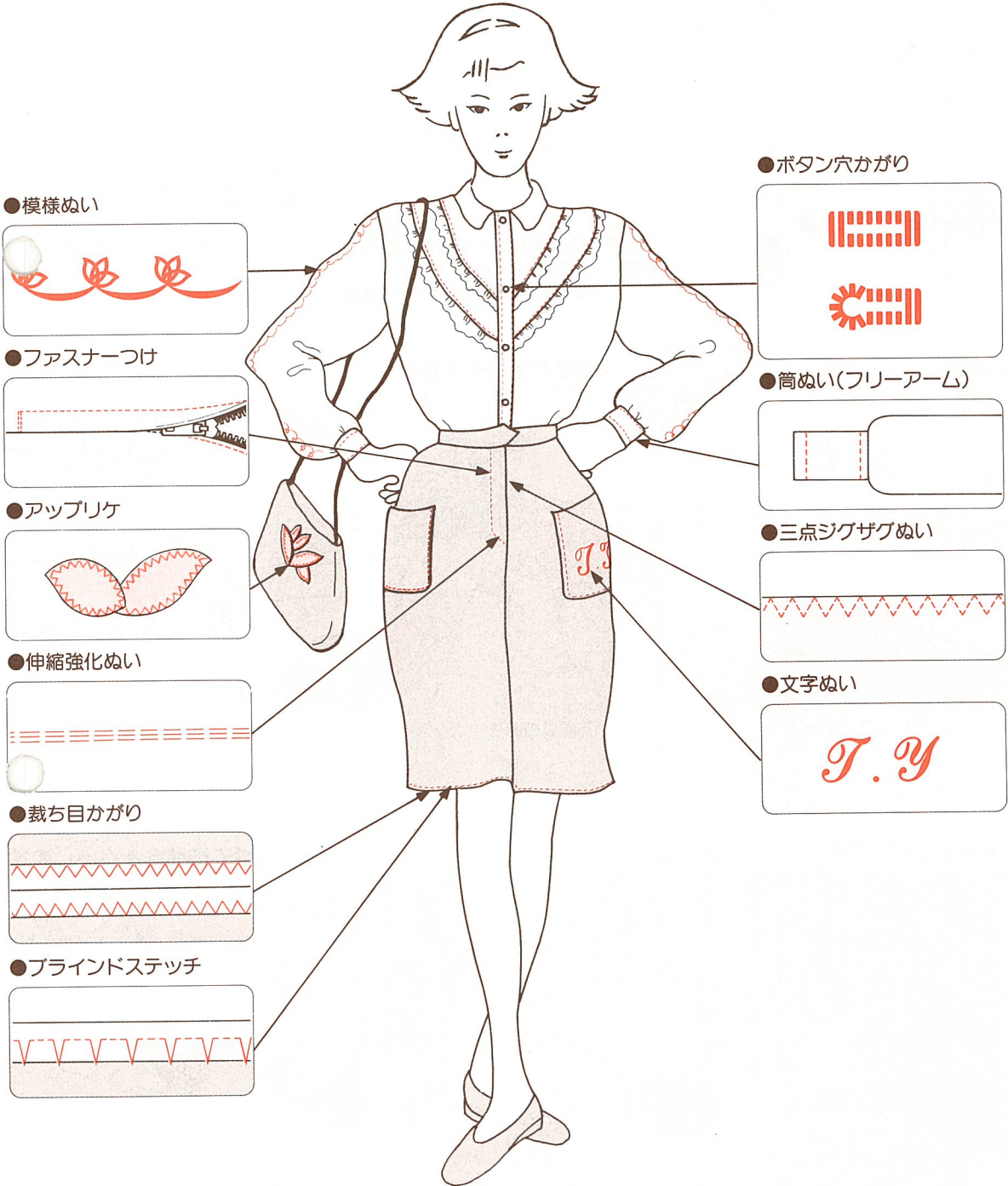
●針の調べ方



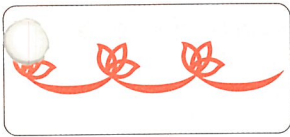
すき間が針先まで平均に見えるのが  
良い針です。  
針先が曲ったり、つぶれているもの  
は使わないようにします。



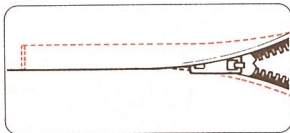
直線ぬいから ボタン穴かがり、筒ぬい、模様ぬい、アップリケ、  
 ブラインドステッチなど いろいろなぬい方ができます。



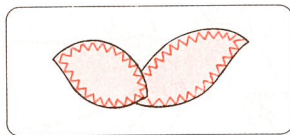
●模様ぬい



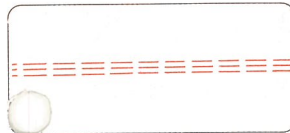
●ファスナーつけ



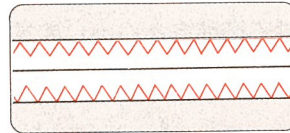
●アップリケ



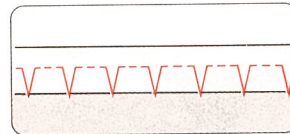
●伸縮強化ぬい



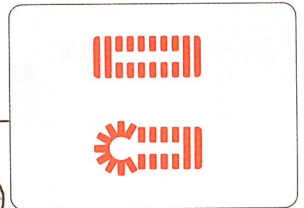
●裁ち目かがり



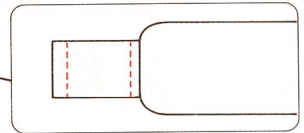
●ブラインドステッチ



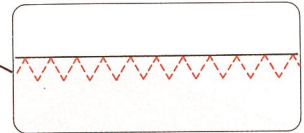
●ボタン穴かがり



●筒ぬい(フリーアーム)

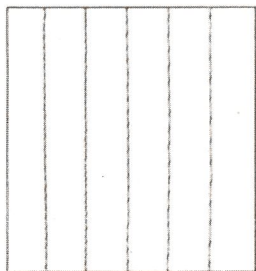


●三点ジグザグぬい



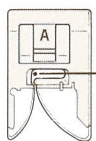
●文字ぬい





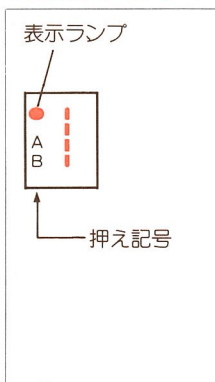
▲自動のぬい目

直線ぬいはぬいの基本です。布地に適した針と糸を選びましょう。



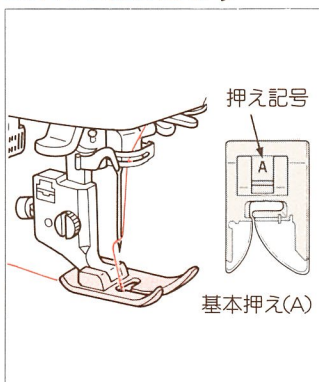
針の落ちる位置

### 1 模様を選びます



電源を入ると自動的に直線が選ばれます。

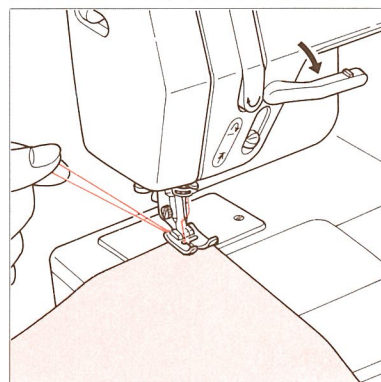
### 2 押えを確かめます



模様選択キーに表示されている記号の押えを使います。

※押えのつけ方は9ページ参照

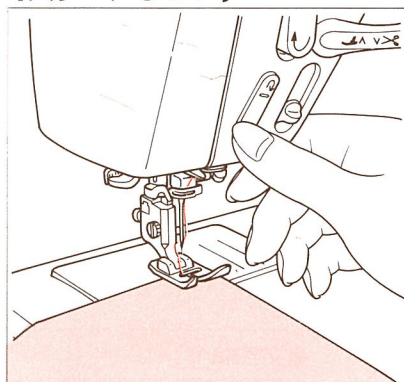
### 3 布地を入れ、押えをさげます



布地を押えの下におき、ぬい始め位置に針をおとします。

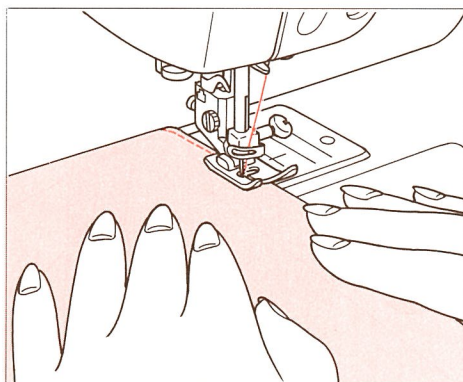
上・下糸をそろえて押えをさげます。

### 4 スタートさせます



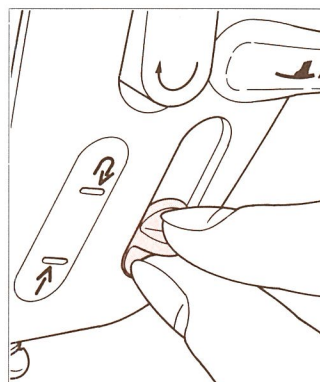
スタート・ストップ スイッチを押します。

### 5 布地に軽く手をそえます



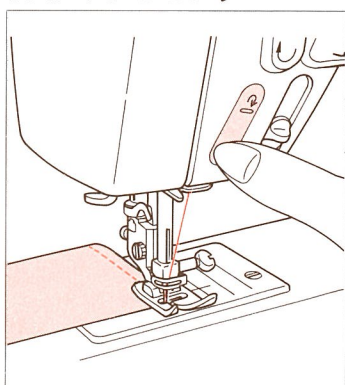
ぬっている間は布地を ぐりに引っばらないようにします。

### 6 ぬい速度を調節します



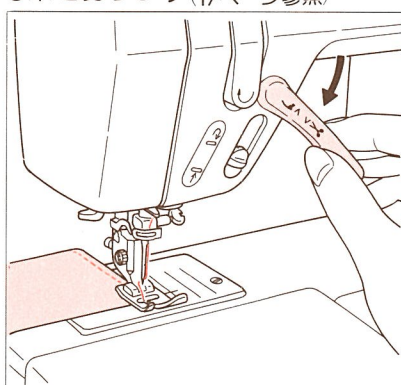
上にあげるとはやくなります。下にさげるとおそくなります。

### 7 ストップさせます



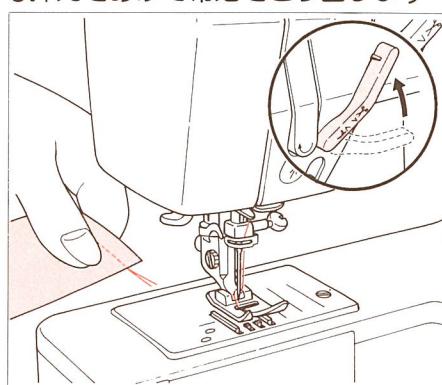
スタート・ストップ スイッチを押します。

### 8 糸を切ります (自動糸切りは17ページ参照)



押え上げ・糸切りレバーを針が動くまで いったいにさげます。

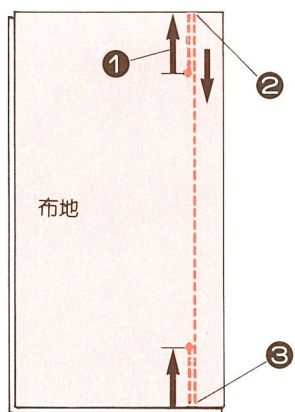
### 9 押えをあげて布地をとり出します



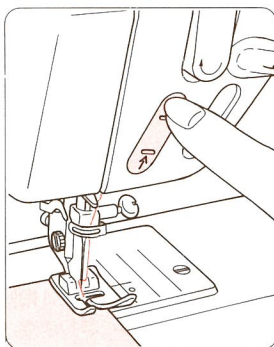
針が完全に止まってから、押え上げ・糸切りレバーを上へあげます。上・下糸が同時に切れて、布地がとり出せます。



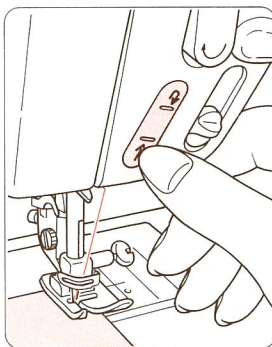
●返しぬい(ほつれ止め) ぬい始めと ぬい終わりに返しぬいをするとぬい目がほつれません。



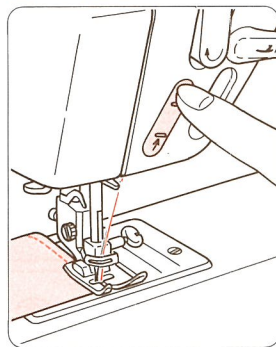
① 返しぬいスイッチを  
押します



② スタート・スイッチを  
押します

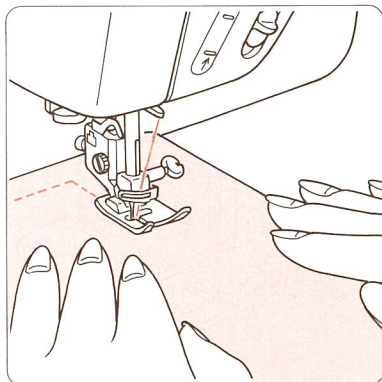
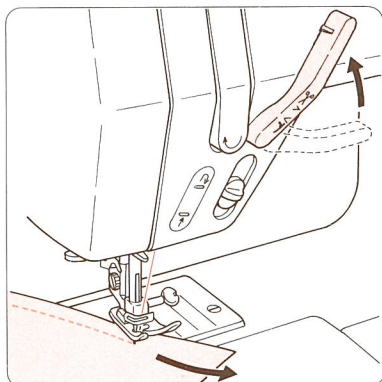


③ 返しぬいスイッチを  
押します



- ※返しぬいスイッチは押している間だけ返しぬいができます。
- ※返しぬいは ゆっくりな速度になっています。
- ※ジグザグなどの模様ぬいのはきは 止めぬい になります。

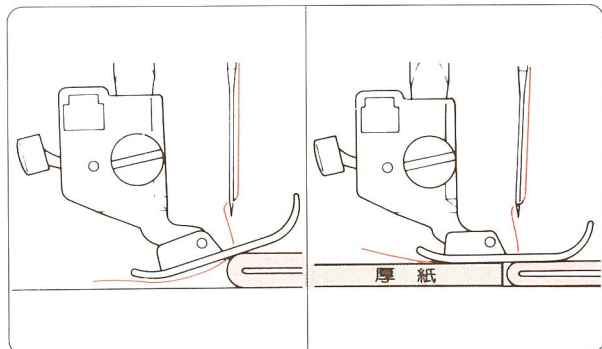
●ぬい方向を変えるとき



所定の位置でストップさせて押えをあげ、針を軸にして布地を回し、ぬい方向に正しくセットします。

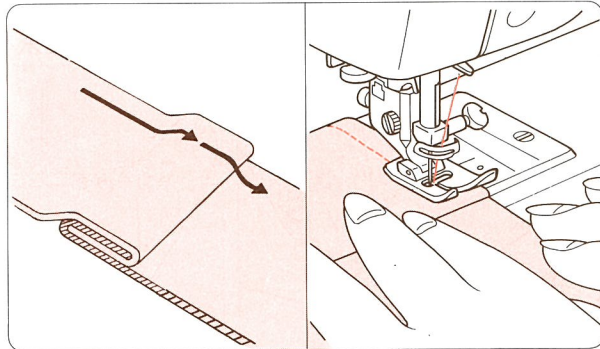
押えをさげて ぬい始めます。

●厚地のぬい始め



ぬい代が重なった布端よりぬう場合は、布端と同じ厚さの厚紙や布を押えの下におりこみますとスムーズに ぬうことができます。

●ぬい代の重なっている部分のぬい方



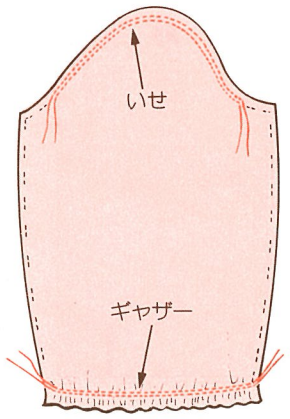
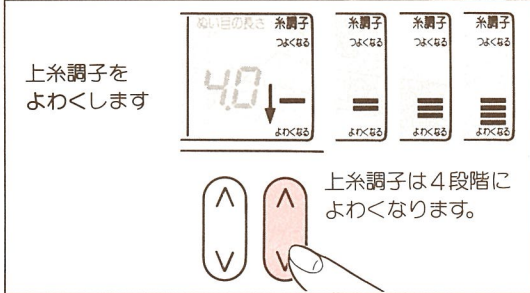
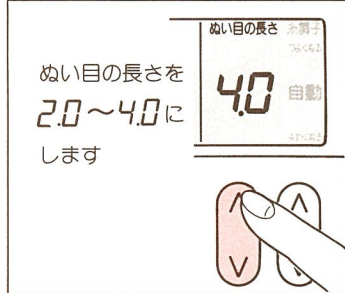
ぬい代の重なりや、極端に厚みに差ができているところはぬい代を倒した方向にぬいます。

手で少しずつ布の送りを助けながらぬっていきます。

※薄地のぬい始めは上・下糸を進む方向に軽くひっぱりながら ゆっくりとぬいます。

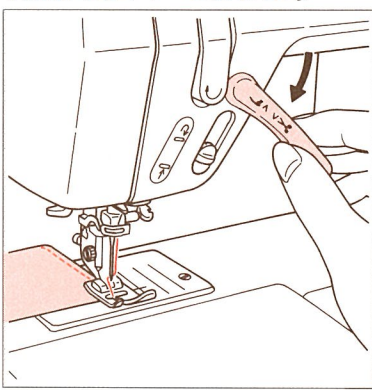
●いせ込み・ギャザーの寄せ方(直線ぬい)

袖山やスカートのウエストなどに いせ込みをする場合と袖口やヨークなどにギャザーを入れる場合は、上糸調子をよわくしてぬい、そのあと手で下糸を引いて布地をちぢめます。



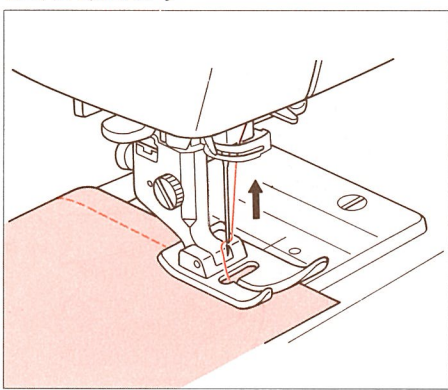
ぬい終わったあと、自動糸切りを使うと便利です。30番以上の太い糸や特殊な糸は糸切りみぞを使って糸を切ってください。

1糸切りレバーを下げます



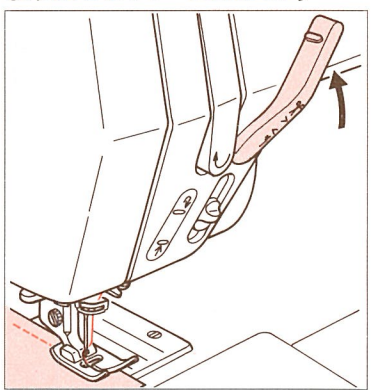
ぬい終わったら、糸切りレバーを下に いったばいまで下げます。  
※しんせつモニターがつきます。

2針が動きます



針が動いて上糸と下糸が切れます。  
針は上で止まります。

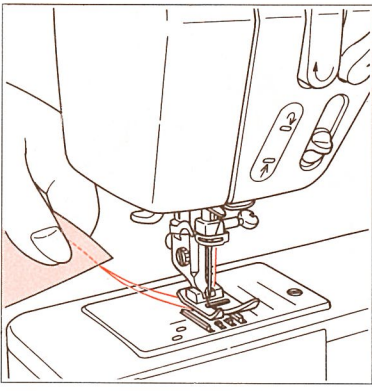
3糸切りレバーをあげます



針が完全に止まってから、糸切りレバ ーを上へあげます。

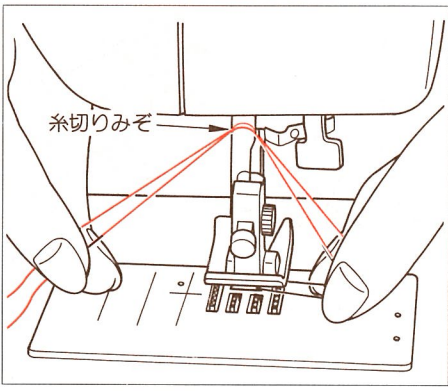
※自動糸切りをしたとき下糸が針板上に出なくても続けてぬうことができます。

1布地をとり出します



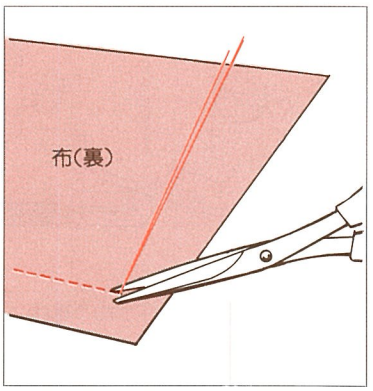
ぬい終わったら、針をあげてから押えを あげて布地を静かに後ろへ引き出します。

2糸切りみぞで糸を切ります



上糸と下糸をそろえて10センチくらい引き出し、 押えの裏側の糸切りみぞで糸を切ります。

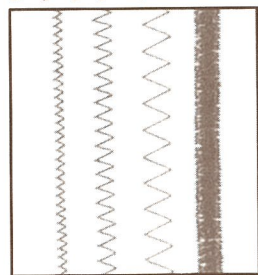
3布地の裏で糸を結びます



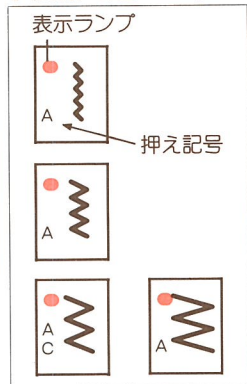
布地の裏側に上糸を引き出し、上糸と 下糸を結び、結び目のきわで糸を切り ます。



ジグザグぬい

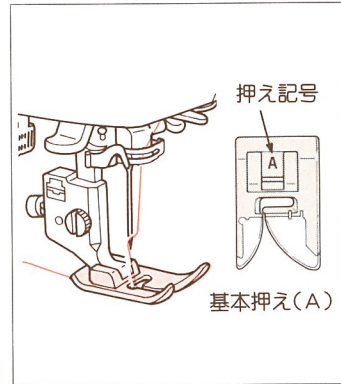


1 模様を選びます



4種類のうち、お好みのジグザグ模様を選びます。

2 押えを確かめます



模様選択キーに表示されている記号の押えを使います。

※押えのつけ方は9ページ参照

3

ぬい方は直線ぬいと  
同じです。  
直線ぬい15~16ページ  
を参照しましょう。

振り幅とぬい目の長さの関係

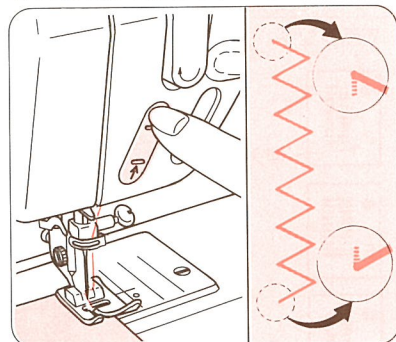
模様選択キー				
振り幅	2	3	5	7
ぬい目の長さ	自動 1.0	1.5	2.0	2.5
マニュアル範囲	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0

※ぬい目の長さのマニュアル範囲の最小は0.0です。

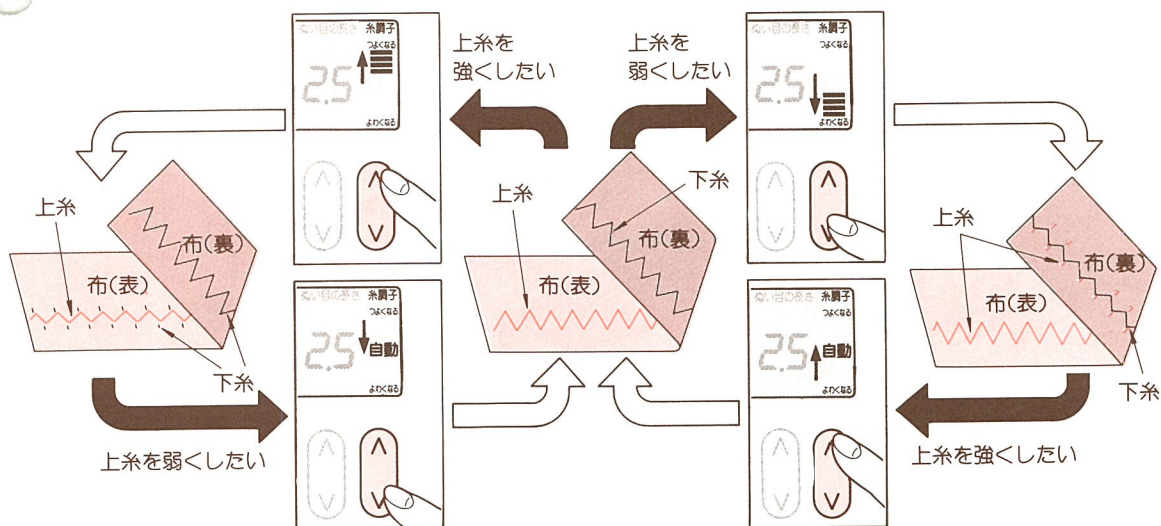
糸調子を変えたいときは糸調子マニュアルキーで調節します。

●止めぬい(返しぬい)

ジグザグのぬい始めとぬい終わりに止めぬい  
をするとぬい目がほつれません。



ぬい始めとぬい終わりに返しぬいスイッチ  
を押します。





手ぬいでかがるとたいへん手間のかかるボタン穴かがりが自動的にできます。

- ニット地(伸縮素材)は布地に芯地、又は不織布をはり、押え調節レバーを「よわい」にしてぬいます。
- 必ず ためしぬいをして、正しくぬえることを確認しましょう。



うすい布地で  
Yシャツ、ブラウスなどの  
小さいボタンに適します。

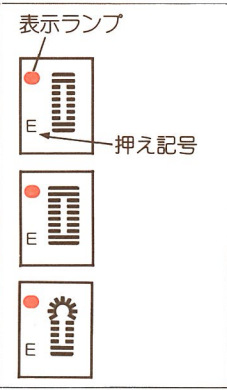


厚い布地で上衣などの  
大きいボタンに適します。



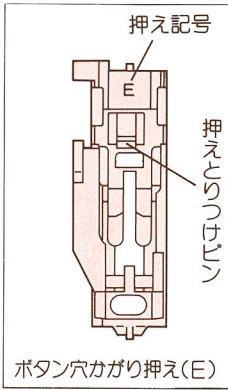
上衣などの  
大きいボタンに適しま

1 模様を選びます



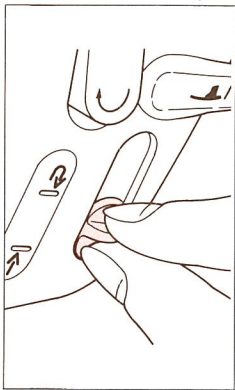
3種類のうち、目的に合ったボタン穴かがりを選びます。

2 押え(E)をセットします

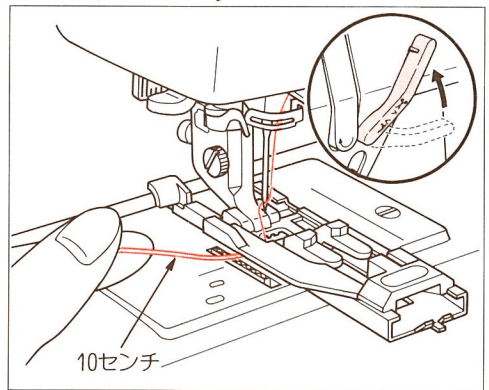


模様選択キーに表示されている記号の押えを使います。記号のある方を向こう側にしてとりつけます。  
※押えのつけ方は9ページ参照

3 ぬい速度を決めます

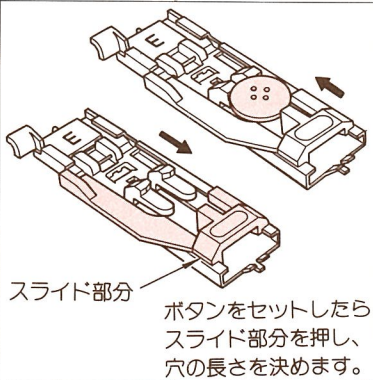
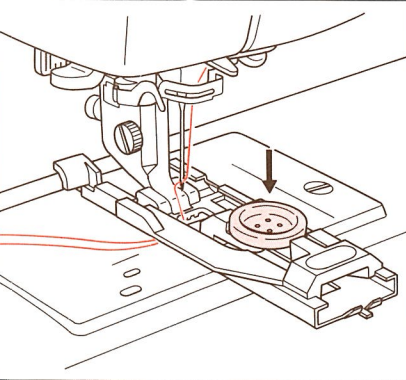


4 糸を横に出します



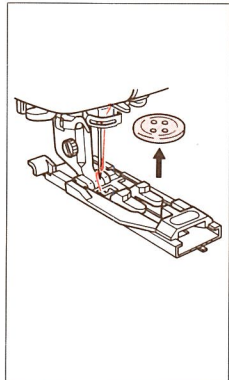
上糸を押えの下へくぐらせます。

5 一度押えを下げて、ボタンをセットします



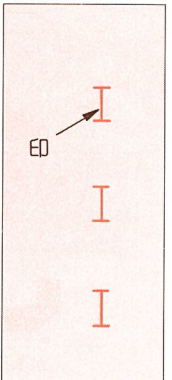
かがり穴の長さはボタンをセットするだけで自動的に決まります。(押えにボタンがのらないときは、ボタンの長径+ボタンの厚みが、かがり穴の長さです)。

6 ボタンをはずします



長さが決まりましたらボタンをはずします。

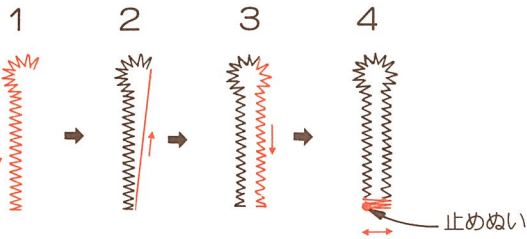
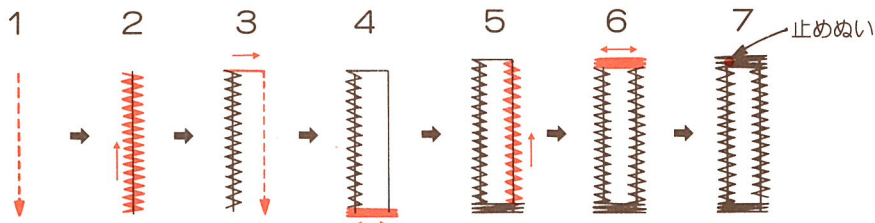
7 布地に印をつけます



ボタン穴の位置にチャコでI印をつけます。

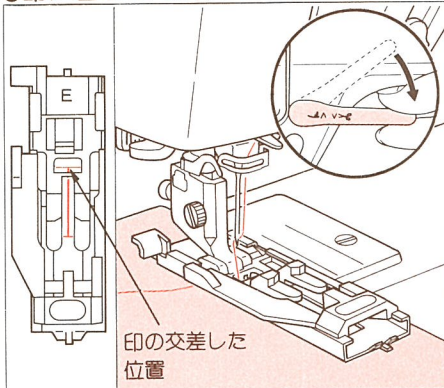


●自動ボタン穴かぎりの ぬわれる順序



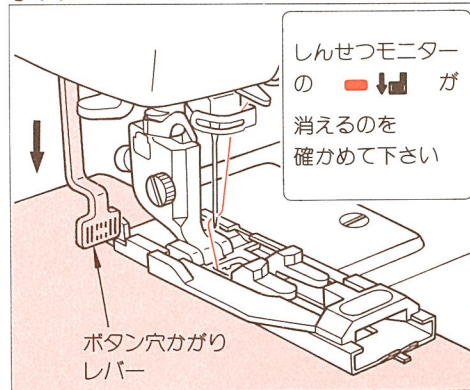
ぬい終ると止めぬいをして、自動的に止まります。

8印に合わせて押えをさげます



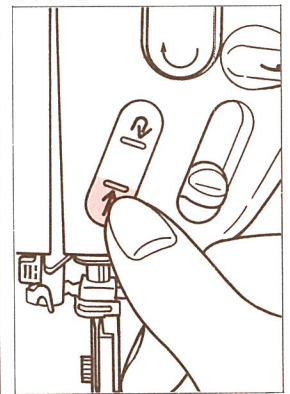
印を押えの針穴の中心に正しくセットして、押えをさげます。

9ボタン穴かがりレバーをさげます



レバーを止まるまでさげるとしんせつモニターが消えます。

10スタートさせます

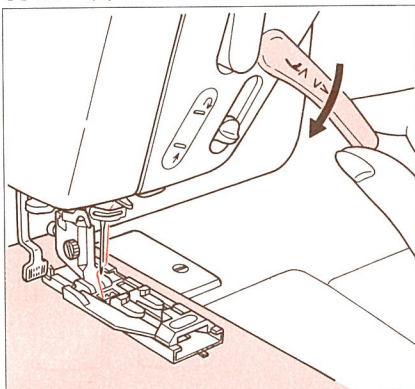


スタート・ストップ スイッチを押します。

レバーをさげないでスタートさせると しんせつモニターが点滅しミシンが動きませんのでレバーをさげます。

※ ボタン穴の大きさをまちがえたり、途中で糸切れしたとき、ミシンを止めて模様選択キーをもう一度押しますと、最初からぬうことができます。

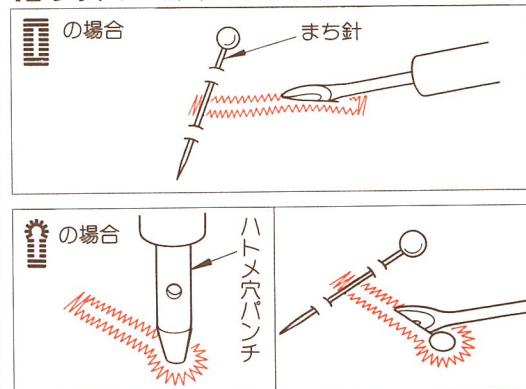
11ぬい終わったら糸を切ります



糸切りレバーをさげて糸を切ります。

※ ボタン穴の2個目からは布地の次の印に合わせて押えをさげてぬうことができます。

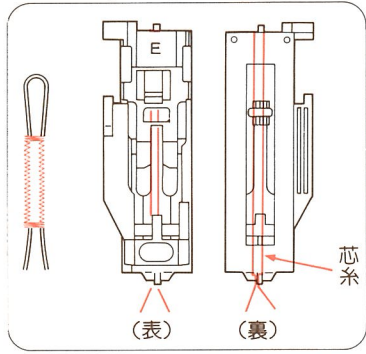
12リッパーで穴をあけます



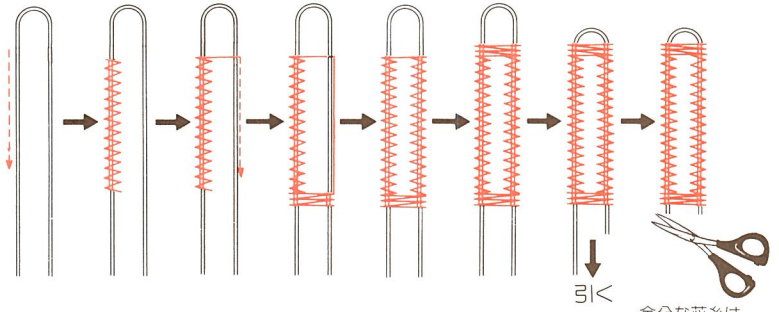
リッパーでぬい糸を切らないように中央の布地を切り開きます  
かん止めの所にまち針をさしますと切りすぎがありません。

厚紙などを下に置いて、ハトメ穴パンチで穴をあけてから、リッパーを使ってください。

●芯入りボタン穴かがりの芯のかけ方

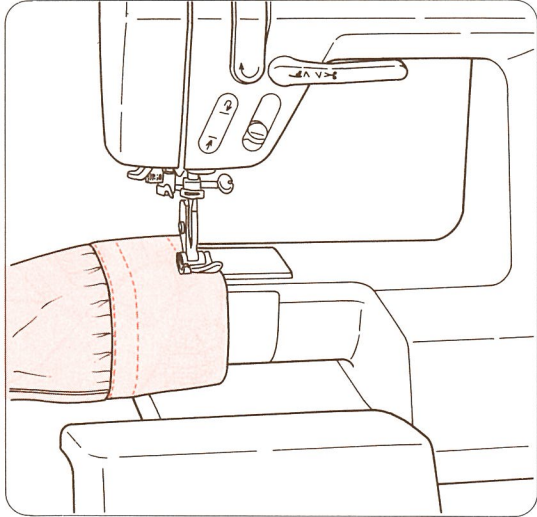


芯糸を入れてぬうとボタン穴の伸びを防ぎ、丈夫なボタン穴かがりができます。  
芯糸にはレース糸、または穴糸を使用します。

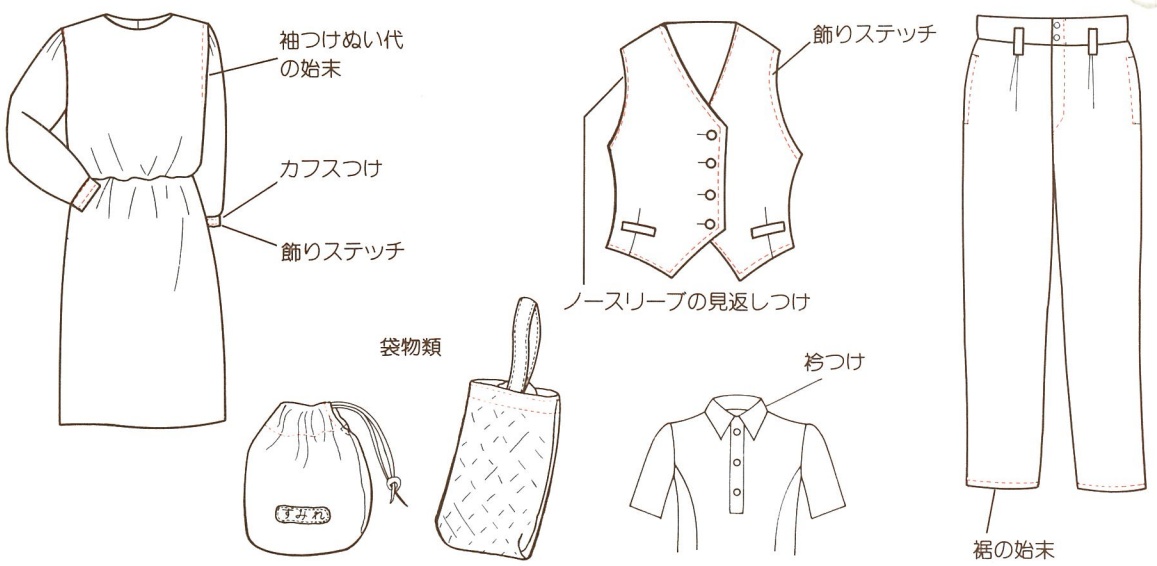


余分な芯糸は裏側に出して結んでから切ります。

芯糸入りのボタン穴かがりをするときは、芯糸をボタン穴かがり押えの裏側の先端にひっかけて裏側の手前側を結びます。そのままボタン穴かがり押えを取りつけて穴かがりをすれば、芯糸入りのボタン穴かがりができます。

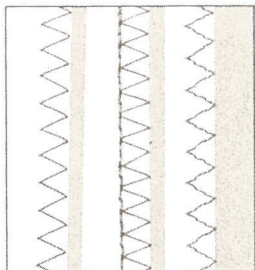


カフスつけ、ノースリーブの見返しつけ、袖口、ズボンの裾など筒型部分をぬうのに大変便利です。



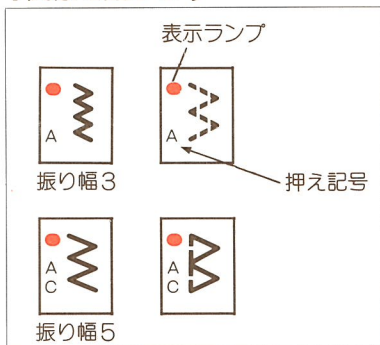


裁ち目かがり(縁かがり)



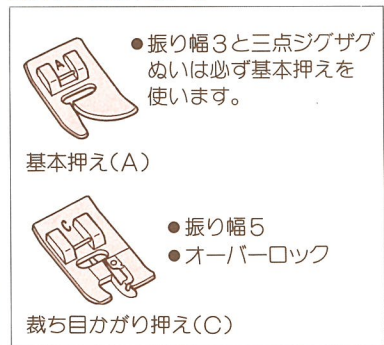
布地の裁ち目がほつれるのを防ぐために用います。

1 模様を選びます



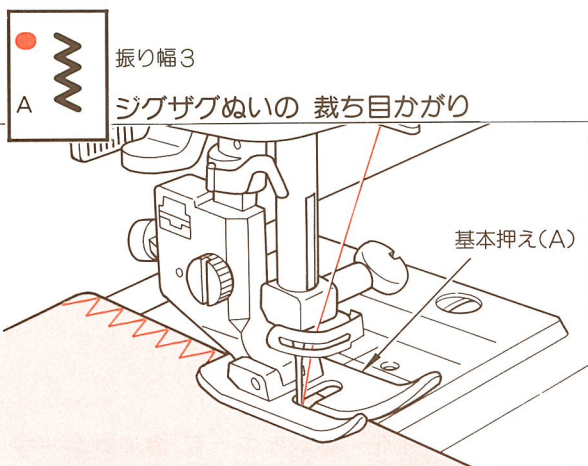
4種類のうち、お好みの模様を選びます。

2 押えをかえます

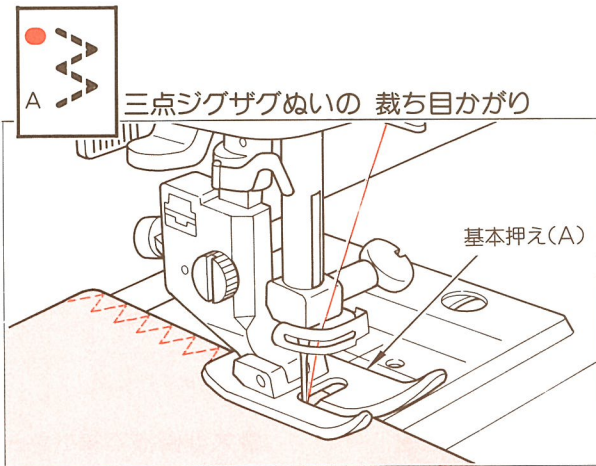


模様選択キーに表示されている記号の押えを使います。

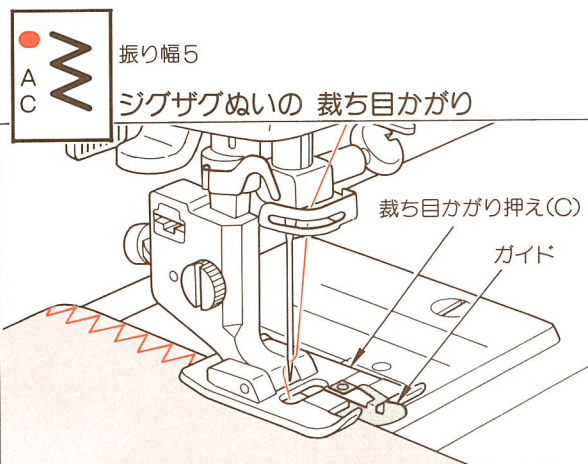
※押えのとりつけ方は9ページ参照



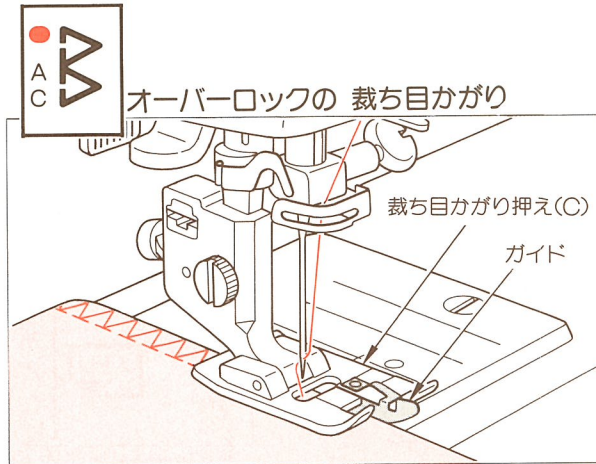
薄地の布で布端が丸まりやすい場合に使います。



ほつれやすい布、伸縮性のある布に利用します。布端より織糸の1~2本内側に針が落ちるようにぬいます。

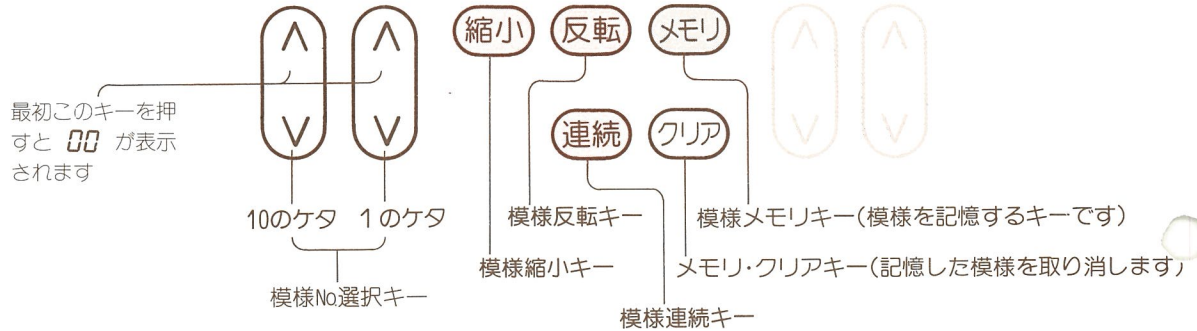
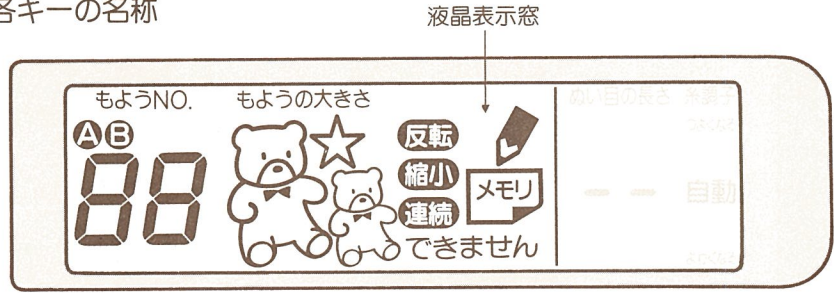


裁ち目のほつれ止めとして広範囲に利用できます。布端を押えのガイドにあて、針が布地の端すれすれに落ちるように布をセットします。



かがりぬいと地ぬいが同時にでき、ほつれやすい布や伸縮性のある布でぬい代をわらなくてよいもののぬい合わせに適します。

■液晶表示と各キーの名称



■液晶表示窓に表示される内容

●模様を指定したとき



●A面模様に切替えたとき



Aがぬえます。

●B面模様に切替えたとき



Bがぬえます。

●最初に模様を指定したとき



大きさのシンボルマークです

●大型模様で縮小キーを押したとき



縮小のシンボルマークです

●標準模様を選んだとき



標準模様のシンボルマークです

●反転キーを押したとき



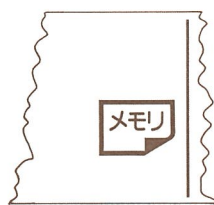
●連続キーを押したとき



●メモリキーを押したとき



●メモリされたとき



前の模様を選び (メモリ) を押して、次の模様を指定したとき。

●ぬえない模様を選んだとき



●反転、縮小できない模様を選んだとき。  
●21個以上の模様をメモリしたとき。

※上記の表示を消したいときは、電源を入れ直るか基本ぬい模様を選びますと すべてがクリア(解除)されます。



■ 模様の種類と各キーとの関係

模様の種類		使用可能キー
<p>具象模様</p> <p>大型模様</p>		<p>縮小 反転 メモリ</p> <p>連続 クリア</p>
<p>A面模様</p> <p>標準模様</p> <p>大型模様</p> <p>連続模様</p> <p>標準連続模様</p>	<p>アルファベット</p>	<p>メモリ</p> <p>連続 クリア</p>
	<p>アルファベット</p>	<p>縮小</p> <p>メモリ</p> <p>連続 クリア</p>
	<p>連続模様</p>	<p>—</p>
	<p>標準連続模様</p>	<p>—</p>
<p>B面模様</p> <p>標準模様</p> <p>ひらがな・その他</p>		<p>メモリ</p> <p>連続 クリア</p>

※ 模様の形を整える調整模様Noとしてパネル上にありませんが98を指定します。(調整方法29ページ)